

コミュニティ・スクールだより



第23号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年8月3日

学校運営協議会を 充実させるためのポイント



市内小中学校では、1学期を無事終了することができました。1学期には、コロナ禍での第1回学校運営協議会の開催となりましたが、書面決議や会議時間の短縮、開催時期の変更等、各学校の実情等を考慮した中での開催となり、大変ご苦勞をおかけしました。

ここで、下記のポイントをチェックしながら、これまでの学校運営協議会の運営を振り返り、夏季休業中や2学期以降に向けた取組の充実に生かしていただきたいと思います。

◆コミュニティ・スクールの仕組みを有効に活用するポイント

- 「めざす子どもの姿」「めざす学校の姿」等の目標やビジョンが、具体的かつ明確である。また、それらを全教職員が共有し、全校体制でコミュニティ・スクールの取組が推進されている。
- 学校の課題や目標、ビジョンを学校・家庭・地域が共有し、学校支援や地域貢献等の具体的な取組が企画されている。
- 子どもの変容をもとに取組を評価し、改善に向けた協議がなされている。
- 学校運営協議会の取組が、教職員の校務分掌や地域づくり組織、PTA等の取組と連動している。



◆学校運営協議会の開催にあたって、成果を生み出すポイント

開催前

- 校長と会長等が協議会のねらいを確認したり、協議の方向性を明確にするための打合せを行ったりする。
※協議事項が「めざす子どもの姿」の実現に向けた内容になっているか。「学校運営の充実に向けた内容であるか。」について検討を行う。
- 協議を充実させるため、必要な資料を委員に事前配布するなど、協議事項について意見をもって出席できるように工夫する。



開催時

- 活発な意見の発表や議論ができる雰囲気づくりをする。
- 開始・終了の時刻を厳守する。
- 学校課題等の情報をわかりやすく提供・説明する。
- 熟議の時間を十分確保するなど、参加者から幅広く意見を取り入れる工夫をする。
- 協議したことを、①すぐに取り組めるもの、②継続的に協議が必要なもの、③時間をかけ、様々な調整をしながら実現していく必要があるものなどに整理する。



開催後

- 協議した内容は全教職員で共有するとともに、保護者や地域住民にも学校だよりやホームページ等で広く発信し、情報の共有に努める。
- 協議会で議論した内容をもとに、めざす姿の達成に向けて、できることから具体的な協働活動（学校運営への参画、学校支援の充実、地域貢献の場づくり）に結び付けていく。
- 協議内容や協働活動の見える化を図る。